

ドッペルゲンガー (2002)

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ ホラー

製作国 日本

色彩 Color

時間 107分

初公開日 2003/09/27

公開情報 アミューズピクチャーズ

【キャッチコピー】

分身、見たら死ぬ。

【解説】

研究者の男がある時、自身のドッペルゲンガーに遭遇し戸惑いながらも、私利私欲のために奇妙な関係を築いていく姿を描いたコミカルな異色オカルト・ホラー。ドッペルゲンガーとは、自分の分身を自ら見てしまう幻覚の一種で、それを見た者は数日中に必ず死ぬといわれている。監督・脚本は「アカルイミライ」の黒沢清。

早崎道夫は、医療機器メーカー、メディカル・サイテック社のエリート研究者。彼は10年前に開発した血圧計が大ヒットしたことで、次の開発へ向けて周囲から期待を寄せられている。だが、今では助手と共に人工人体の開発を続けるもはかどらず、上司からもたびたび進捗状況を問われ、ストレスを募らせていた。そんなある日、スランプ状態に陥る早崎の前に突然、彼に瓜二つの外見を持つ分身“ドッペルゲンガー”が出現した。そして、早崎が必死にその存在を否定する中、分身は彼に協力するために現われたと告げるのだった…。

【クレジット】

監督	黒沢清	Kiyoshi Kurosawa	
製作	平井文宏 加藤鉄也 宮下昌幸 吉岡正敏 神野智		
プロデューサー	佐藤敦 下田淳行 川端基夫		
脚本	黒沢清 古澤健	Kiyoshi Kurosawa	
撮影	水口智之		
美術	新田隆之		
編集	大永昌弘		
音楽	林祐介		
照明	豊見山明長		
録音	郡弘道		
出演	役所広司 永作博美 ユースケ・サンタマリア	Koji Yakusho Yusuke Santamaria	早崎道夫とそのドッペルゲンガー 永井由佳 君島

柄本明
ダンカン
戸田昌宏
佐藤仁美
鈴木英介

Dankan

早崎の同僚・村上
メディコム産業社員
早崎の助手・青木
早崎の助手・高野
由佳の弟・隆志